

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目				環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.7
Q1 室内環境							0.37		-	2.8
1 音環境						2.5	0.15	-	-	2.5
1.1 室内騒音レベル				—		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音						1.8	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能				—		1.0	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能				—		3.0	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				—		-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				—		-	-	-	-	
1.3 吸音				—		3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境						2.8	0.35	-	-	2.8
2.1 室温制御						3.4	0.50	-	-	
1 室温				—		3.0	0.38	-	-	
2 外皮性能				窓システムSC:0.6程度、U=4.0程度、外壁/屋根U=1.0以下		4.6	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性				—		3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御				—		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式				—		3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						2.6	0.25	-	-	2.6
3.1 昼光利用						1.8	0.30	-	-	
1 昼光率				—		1.0	0.60	-	-	
2 方位別開口				—		-	-	-	-	
3 昼光利用設備				—		3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策						3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御				—		3.0	1.00	-	-	
3.3 照度				—		3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御				—		3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境						3.2	0.25	-	-	3.2
4.1 発生源対策						3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質				—		3.0	1.00	-	-	
4.2 換気						3.0	0.30	-	-	
1 換気量				—		3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能				有効開口面積:1/15以上		5.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮				—		1.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理						4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視				—		3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御				敷地内は全面禁煙		5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能						—	0.30	-	-	2.8
1 機能性						2.8	0.40	-	-	2.8
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性				—		3.0	0.33	-	-	
2 高度情報通信設備対応				—		3.0	0.33	-	-	
3 バリアフリー計画				—		3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性						2.3	0.30	-	-	
1 広さ感・景観				天井高2.7m、窓の設置有		4.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース				—		2.0	0.33	-	-	
3 内装計画				—		1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理						3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				—		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				—		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				—		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能				—		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.4	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				—		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上り材の補修必要間隔				—		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上り材の更新必要間隔				事務室:床タイルカーペット(t6.5)、壁ビニルクロス(PBt12.5)、天井岩綿吸音板(t9.0)(PBt12.5)		5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				—		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				給水VLP(B)、給湯SUS(C)、排水VP(B)、Eは不使用。		5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				—		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						2.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備				—		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備				—		2.0	0.20	-	-	
3 電気設備				—		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法				—		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備				—		2.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性			2.7	0.30	-	-	2.7
	3.1 空間のゆとり			2.2	0.30	-	-	
	1	階高のゆとり	—	1.0	0.60	-	-	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率、0.1以上0.3未満	4.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり		—	3.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境（敷地内）				—	0.33	-	-	2.5
1	生物環境の保全と創出		—	2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮		—	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	—	2.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	—	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-		-	3.1
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	3.2
1	建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.82	4.8	0.20	-	-	4.8
2	自然エネルギー利用		—	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		—	2.8	0.50	-	-	2.8
	集合住宅以外の評価			2.8	1.00	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
4	効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	—	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	—	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	2.8
1	水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1	節水	自動水栓に加えて、節水型便器を採用。	4.0	0.40	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	—	3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	—	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60	-	-	2.6
	2.1	材料使用量の削減	—	2.0	0.10	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	—	3.0	0.20	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	—	3.0	0.20	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	—	1.0	0.20	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	—	2.0	0.10	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材のディールを採用	4.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	—	3.0	0.30	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤	—	-	-	-	-	
	2	発泡剤（断熱材等）	—	3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒	—	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	3.2
1	地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率 73%	4.0	0.33	-	-	4.0
2	地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
	2.1	大気汚染防止	—	3.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善	—	3.0	0.50	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	—	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	—	1.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	—	3.0	1.00	-	-	
	2	振動	—	-	-	-	-	
	3	悪臭	—	-	-	-	-	
	3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	—	-	-	-	-	
	2	砂塵の抑制	—	1.0	-	-	-	
	3	日照障害の抑制	—	3.0	1.00	-	-	
	3.3	光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	—	3.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光（グレア）への対策	—	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	4.0		－	－	○	－	○	○	－	－	－	○	－	－	－
1.3.2 維持管理用機能の確保	5.0		－	－	○	－		○	○	－	○	○	－	－	－
2.4.1 空調・換気設備	－		○	－	－	－	－								
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	－	－	－	－	－	－						
2.4.3 電気設備	1.0	－	－	－	－	○	－	－							
2.4.5 通信・情報設備	1.0		－	－	○	－	－	－							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	4.0		－	－	2.0	－	－	－	1.0	－	1.0	－	－		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	－	－	－	－							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		－	－	－	－	－	1.0	－	－					
3.2 敷地内温熱環境の向上	6.0		－	1.0	－	1.0	－	－	－	2.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			－	－	－	－	－	－	－	－					
2.1 材料使用量の削減	－		－	－	－										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			－	－	－	－	－								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	－	－	－									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	－														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	7.0		1.0	－	－	3.0	1.0	－	－	1.0	1.0	－			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	－	－	1.0	－	－							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	－		－	－	－	－		－	－						
3.2.2 砂塵の抑制	－		－	－											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		－	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	0.6	窓の日射熱取得率(η)	0.5
U値(W/m2K)	窓システム 3.8	屋根	0.4
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	－
屋光率	0.7%	η AC	－
自然換気有効開口面積率	7.7%	η AH	－

3.1.1 屋光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	6.0㎡ /人	病床	.0㎡ /床	シングル	.0㎡ ツイン	.0㎡
--------	---------	----	--------	------	---------	-----

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量	0.0 VA/㎡
---------	----------

1.2.1 広さ感・景観

天井高	2.7 m
-----	-------

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース	0.0%	レストスペース	0.0%
------------	------	---------	------

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数	0 年
--------	-----

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔	15 年
--------	------

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔	20 年
--------	------

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔	0 年
--------	-----

3.1.1 階高のゆとり

階高	3.2 m
----	-------

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率	18.0%
-------	-------

3.2 荷重のゆとり

床荷重	－ N/m2
-----	--------

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数	43%	建物緑化指数	0%
--------	-----	--------	----

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率	43%	水平投影面積率	0%	地表面対策面積率	18%	舗装面積率	24%
-----	-----	---------	----	----------	-----	-------	-----

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI _m	0.82	断熱等性能等級	等級4 相当
----------------------	------	---------	--------

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	80.0%	採光を満たす住戸数	80.0%
--------------	---------	-----------	-------	-----------	-------

3 設備システムの高効率化

通風を満たす教室数	80.0%	通風を満たす住戸数	80.0%
-----------	-------	-----------	-------

非住宅部分

太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW
-----	------	------	------	-----	------

集合住宅の評価

BEI/BEI _m	再エネ有	0.62	無	0.62	オフサイト再エネ有	－	－
----------------------	------	------	---	------	-----------	---	---

LR2 資源・マテリアル

一次エネ削減率	再エネ有	無				－	
---------	------	---	--	--	--	---	--

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率	0.0%
-------	------

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目	－	エコマーク商品	－	自治体指定の特定品目等	－
--------	---	---------	---	-------------	---

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率	0.0%
------	------

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)	
---------------	--	--------------	--

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	
---------------	---	--------------	--

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	8
---------------	---	--------------	---

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	85%	隣棟間隔指標R _w	1.63
-------	-----	----------------------	------

地表面対策面積率	17.9%	屋根面対策面積率	0.0%	外壁面対策面積率	0.0%
----------	-------	----------	------	----------	------

見付面積S _b	452㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	33.58 m	基準高さH _b	15.78 m
--------------------	------	------------------------------	---------	--------------------	---------

緑地	327㎡	水面	㎡	保水性対策面	㎡	高反射対策面	㎡	再帰性反射対策面	㎡
----	------	----	---	--------	---	--------	---	----------	---